

# 小規模企業の景況

(令和元年(2019年)4～6月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)令和元年(2019年)4～6月期の結果概要は以下の通り。今期(令和元年(2019年)4～6月期)の業況は、基調としては緩やかに改善している。業況D I値は前回調査から0.7ポイント改善、売上額D I値は改善、資金繰りD I値は悪化した。産業別に見ると「経営上の問題点」では製造業とサービス業において「従業員の確保難」が上位となっており、同業種において従業員数の不足感が続いている。

## 1. 今期(令和元年(2019年)4～6月期)の状況

**【売上額】**今期(令和元年(2019年)4～6月期)の売上額D I値(全産業)は、前回調査(平成30年1～3月期)の(▲19.1)から2.8ポイント改善し、▲16.3となった。業種別では前回調査から、製造業が2.9ポイント、小売業が15.9ポイント、サービス業が2.7ポイントそれぞれ改善し、卸売業が11.8ポイント悪化した。

**【資金繰り】**今期の資金繰りD I値(全産業)は、前回調査(▲11.5)から1.1ポイント悪化し、▲12.6となった。業種別では前回調査から、製造業が2.8ポイント、サービス業が5.1ポイントそれぞれ改善し、卸売業が2.8ポイント、小売業が11.6ポイントそれぞれ悪化した。

**【業況】**今期の業況D I値(全産業)は、前回調査(▲17.0)から0.7ポイント改善し、▲16.3となった。業種別では前回調査から、製造業が1.6ポイント、小売業が4.3ポイント、サービス業が2.7ポイントそれぞれ改善し、卸売業が7.3ポイント悪化した。

**【従業員】**今期の従業員D I値(全産業)は、前回調査(▲17.0)から1.4ポイント悪化し、▲18.4となった。業種別では前回調査から、製造業が4.7ポイント、卸売業が3.3ポイントそれぞれ改善し、小売業が7.2ポイント、サービス業が5.5ポイントそれぞれ悪化した。

## 2. 来期(令和元年7～9月期)の予想

来期(令和元年7～9月期)の全産業の予想D I値は、売上額▲11.2、資金繰り▲10.5、業況▲5.8となった。

## 3. 経営上の問題点

第1位は、製造業が「製品ニーズの変化への対応」、卸売業・小売業が「需要の停滞」、サービス業が「利用者ニーズの変化への対応」となった。

※D I値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(平成30年4月～6月期)と比較して売上額、業況、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 06-6944-6451

## 【調査の概要】

- ・調査名：第156回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
- ・調査時期：令和元年5月24日～6月1日（前回：平成31年2月22日～3月1日）
- ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
- ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
  - ※ 全国7,983件中、大阪商工会議所分324件。
  - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）294件について取りまとめた。  
〔製造業76件、卸売業66件、小売業69件、サービス業83件〕

## ■DI値推移（全産業）

	153回調査	154回調査	155回調査 (前回)		156回調査 (今回)	
	H30(2018年) 7～9月期	H30(2018年) 10～12月期	H31(2019年) 1～3月期	R1(2019年) 4～6月期	R1(2019年) 4～6月期	R1(2019年) 7～9月期
売上額（増-減）	-20.5	-18.5	-19.1	-2.4	-16.3	-11.2
資金繰り（好-悪）	-14.0	-13.6	-11.5	-9.4	-12.6	-10.5
業況（好-悪）	-21.9	-18.1	-17.0	-6.6	-16.3	-5.8
従業員（過-不）	-20.5	-18.8	-17.0		-18.4	

## ■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	製品ニーズの 変化への対応 ↑	10 (8)	需要の停滞 →	21 (19)	需要の停滞 ↑	11 (11)	利用者ニーズの 変化への対応 →	11 (16)
2位	従業員の確保 難 ↑ 需要の停滞 ↓	9 (9) 9 (10)	仕入単価の上昇 →	9 (10)	大型店・中型店の 進出による競争 の激化 → 消費者ニーズの 変化への対応 ↓	10 (11) 10 (12)	従業員の確保難 → 需要の停滞 ↑	9 (10) 9 (7)
3位			販売単価の低 下・上昇難 →	7 (8)				

〔注〕（ ）内は前回（平成31年1～3月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

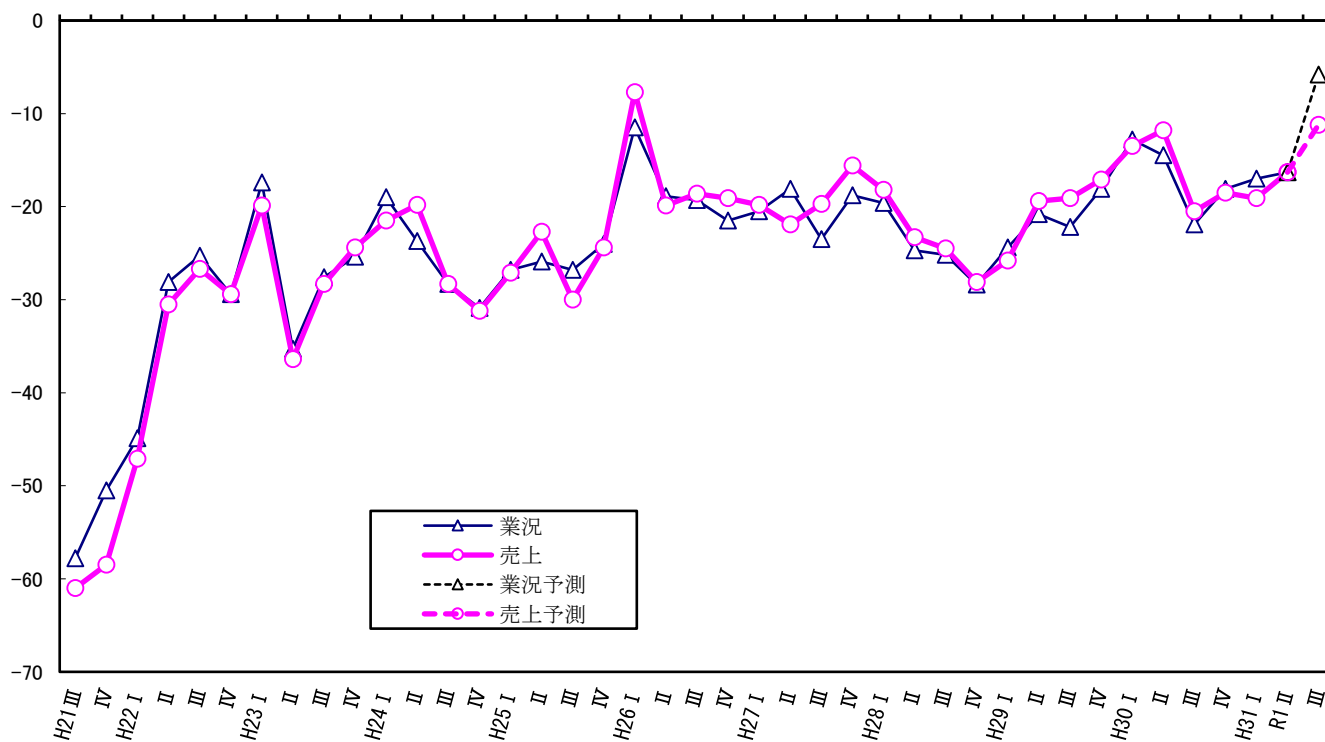
↓＝前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(4~6月期)				前回(1~3月期)からの推移	来期の予想(7~9月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	26.3	43.4	30.3	▲ 3.9	2.9	15.8	52.6	31.6	▲ 15.8
	卸売業	21.2	27.3	51.5	▲ 30.3	▲ 11.8	18.2	48.5	31.8	▲ 13.6
	小売業	17.4	39.1	43.5	▲ 26.1	15.9	15.9	50.7	33.3	▲ 17.4
	サービス業	22.9	45.8	31.3	▲ 8.4	2.7	25.3	48.2	25.3	0.0
	合計	22.1	39.5	38.4	▲ 16.3	2.8	19.0	50.0	30.3	▲ 11.2
前回	20.5	39.6	39.6	▲ 19.1		23.6	50.0	26.0	▲ 2.4	
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	10.5	77.6	11.8	▲ 1.3	2.8	9.2	76.3	14.5	▲ 5.3
	卸売業	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2	▲ 2.8	7.6	66.7	24.2	▲ 16.7
	小売業	4.3	62.3	33.3	▲ 29.0	▲ 11.6	4.3	65.2	30.4	▲ 26.1
	サービス業	12.0	69.9	16.9	▲ 4.8	5.1	12.0	77.1	9.6	2.4
	合計	9.2	68.7	21.8	▲ 12.6	▲ 1.1	8.5	71.8	19.0	▲ 10.5
前回	8.0	71.9	19.4	▲ 11.5		8.0	73.6	17.4	▲ 9.4	
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	18.4	59.2	22.4	▲ 3.9	1.6	14.5	57.9	19.7	▲ 5.3
	卸売業	10.6	48.5	39.4	▲ 28.8	▲ 7.3	16.7	57.6	21.2	▲ 4.5
	小売業	8.7	52.2	37.7	▲ 29.0	4.3	14.5	52.2	29.0	▲ 14.5
	サービス業	19.3	54.2	26.5	▲ 7.2	2.7	20.5	59.0	20.5	0.0
	合計	14.6	53.7	31.0	▲ 16.3	0.7	16.7	56.8	22.4	▲ 5.8
前回	13.2	55.6	30.2	▲ 17.0		17.4	56.6	24.0	▲ 6.6	
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	2.6	78.9	17.1	▲ 14.5	4.7				
	卸売業	0.0	80.3	15.2	▲ 15.2	3.3				
	小売業	0.0	69.6	15.9	▲ 15.9	▲ 7.2				
	サービス業	2.4	66.3	28.9	▲ 26.5	▲ 5.5				
	合計	1.4	73.5	19.7	▲ 18.4	▲ 1.4				
前回	2.1	73.3	19.1	▲ 17.0						

「今期の状況（除従業員）」は令和元年(2019年)4~6月期状況であり、前年同期の平成30年4~6月期との比較。来期の予想は令和元年7~9月期予想であり、平成30年7~9月期との比較である。「前回」欄は平成31年1~3月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転-減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※令和元年III期は予想値